

# 昭和学報

昭和女子大学

〒154-8533 東京都世田谷区太子堂  
03(3441)5118  
編集発行人 山崎洋史

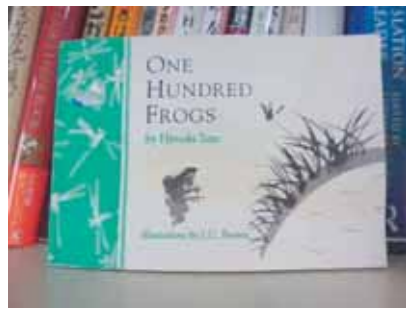
## 世界に発信する「ことば力」

英語コミュニケーション学科長

高野 恵美子

コミュニケーションの重要性が指摘されるようになって久しい。コミュニケーションとは、人と人との間でメッセージを交換することであるが、現代社会においては、特に送り手からの発信力が求められる。発信という点、プレゼンテーションのように人前で話をするのが思い起こされるが、書くこともまた発信の一形態である。ある言語技術教育の専門家

は、「書くことは論理の筋道を立てることであり、論理的に書くことがよりよい発信につながる」と書くことの重要性を説いている。ヨーロッパ、北米をはじめとする世界の多くの国々では、書くことを含む、グローバルスタンダードの言語技術教育が行われている。英語のライティングのクラスで学んだ「パラグラフの基本構造とエッセイの構成に着目してみたい。この



Hiroaki SatoによるOne Hundred Frogsには、松尾芭蕉の俳句「古池や 蛙(か)わす(か)飛びこむ 水の音」の100通りもの英語訳が収められている。ページをパラパラとめくると、イラストの蛙が池の中に…！ Sato, Hiroaki. (1995). One Hundred Frogs. New York: Weatherhill

形式で小論文を書いて、「統一感がない」とか「まとまりに欠ける」というコメントがつけられた人もいられるだろう。「起承転結」は元々漢詩の絶句の構成法であり、小説や詩などの表現方法として用いられるが、レポートや論文の構成には向かない。

この「起承転結」が日本語の話し手に好まれる文章構成の方法であるというところを、ある実験結果が示している。「起承転結」で書かれた文章の日本語版と英語版(日本語版の逐語訳)を、日本語と英語の母語話者に読んでほしいところ、日本語

文章構成を選択することが必要である。また、英語で文章を書くのであれば、「渦巻型」の日本語の書き方ではなく、「直線型」の英語的書き方が当然求められる。発信の時代といわれる現代では、書くことを含めた発信力が、学生だけでなく、社会人にとっても強力な武器になる。グローバル社会においては、英語で発信することも必要となる。学生時代に、論理性が求められるレポートや論文から独創性が必要とされる小説や詩にいたるまで、さまざまな文章の特徴を理解し、書くことを心がけてほしい。そして、書くことを通して、世界に発信する「ことば力」を身につけてほしい。(たかの えみこ)



## 平成二六年度 入学式を挙行

平成二六年度入学式を四月二日(水)創立者記念講堂で行った。今年度の新入生は、大学院四四八名、人間文化学部五四七名、グローバルビジネス学部一〇六名、人間社会学部三九六名、生活科学部三四六名、編入学生三八名。

三月二五日に開花が伝えられた桜も満開となり、うららかな日差しと、爛漫の花が一四七七名の学生の新たな門出を祝福した。



右から、古橋祐 古橋建築事務所所長、小島徹 本学副理事長、福島克彰 戸田建設(株)東京支店常務執行役員支店長、鴨下晴弘 同東京支店次長

## 八〇年館西棟竣工式を実施

三月二〇日(木)昨春より工事を進めていた八〇年館西側の増築工事がいよいよ完成し、竣工式が行われた。「関係各位のご尽力により素晴らしい校舎が完成した」と小島徹副理事長。設計した古橋祐氏からは「八〇年館は、三期にわたる工事で総延長一二〇mとなり、それはそのまま昭和女子大学の躍進と重なる。大雨や大型台風、先の大雪など大変なこともあったが無事完成し、本当に嬉しい」とのお話があった。



342人収容のコスモスホール

平成二六年度 入学式

告 辞

学長 坂東眞理子



新入生のみなさん、保護者のみなさん、入学おめでとうございます。多くの大学の中から、昭和女子大学を選んで下さったことに改めて感謝をいたします。

昭和女子大学は、第一次世界大戦後、愛と理解と調和を求め思慮ある力強い婦人を育てるといふ夢の実現を目指して設立された学園です。それから九四年が経ち、女性を取り巻く環境は大きく変わり、政府も昭和学園が創立百周年を迎える二〇二〇年には、あらゆる分野で指導的な地位に就く人の30%を女性にしようと呼びかけています。日本の社会が女性の力を期待する時代になりました。周りの状況が変わった今こそ、どういふ夢を実現するのか考えることが必要となります。本学で



は、その夢を実現させる力を身に付けて欲しいと思ひ改革を重ねてきました。伝統的に実施している学寮研修、クラスアドバイザー制度、文化講座等を続ける一方で、学部等を再編し、現代ビジネス研究所、コミュニケーションサービスマーケティングセンターの設置等学生たちが自主的に活動できる場所を作る努力をしてきました。

こうしたチャンスを通じて私は『夢を実現する7つの力』を身に付けて欲しいと言っています。1つめは「グローバルに生きる力」です。グローバルに生きるためには、2つめの「外国語を使う力」、3つめの「ITを使いこなす力」、4つめの「コミュニケーションをとる力」も必要ですが、まずは日本語を使いこなす、日本の文化、社会、伝統を理解し、それを自らの言葉で語る力を身に付けなければなりません。また、本学ではボストンキャンパスで勉強するチャンスがあります。海外生活を体験することで日本の特徴、日本の文化に対する認識が深まるものと確信しています。そして5つめは「問題を発見し目標を設定する力」です。高校までの勉強は与えられた課題に対する正解を早く見つけるというものでした。しかし、大学での勉強は自分で考える、自分で問題を発見し、自分で問題を発見し、自分の答えがある中で、自分で目標を設定し、自分で選択判断し、責任を取る力を身に付けることです。6つめは「一歩踏み出して行動する力」です。考えるだけではなしに、まず自分で一歩踏み出して行動する、行動すると成功するとは限りません。失敗、挫折はつきものです。失敗してももう一度チャレンジする。それが皆さんにとって人生を生きていく力を与えると思ひます。そして小さな成功を積み重ねて下さい。自分でもできるという経験をもつことが、7つめの「自分を大切にすること」となります。チャレンジする前に諦めてしまふ、どうせ私とはということ、言い訳ばかりを考えてしまふ。自分をおとしめる行動をする。それは自分大切にすることではありません。

えられた課題に対する正解を早く見つけるというものでした。しかし、大学での勉強は自分で考える、自分で問題を発見し、自分で問題を発見し、自分の答えがある中で、自分で目標を設定し、自分で選択判断し、責任を取る力を身に付けることです。6つめは「一歩踏み出して行動する力」です。考えるだけではなしに、まず自分で一歩踏み出して行動する、行動すると成功するとは限りません。失敗、挫折はつきものです。失敗してももう一度チャレンジする。それが皆さんにとって人生を生きていく力を与えると思ひます。そして小さな成功を積み重ねて下さい。自分でもできるという経験をもつことが、7つめの「自分を大切にすること」となります。チャレンジする前に諦めてしまふ、どうせ私とはということ、言い訳ばかりを考えてしまふ。自分をおとしめる行動をする。それは自分大切にすることではありません。

四年間の大学生活をみなさんが心身ともに健康で過ごし、よい教師・友人と巡り合い、自分の力を伸ばすことを心から期待しています。一人ひとりが全力を尽くして自分たちを成長させ、社会を照らす人材になって欲しいと思っています。改めて入学おめでとうございます。

入学の誓い

佐伯 愛理 (じまろ)



本日より昭和学園の一員として「世の光となる」という学園目標の下、愛と理解と調和に満ちた包容力豊かな女性となる様、努力してまいります。学園の歴史を継承し、新たな歴史を刻むため校訓三則を胸に、皆と協力し活動的な生活を送ります。昨年、東京オリンピックの開催の決定に多くの人が胸を躍らせたように、六年後の日本はどうなっているのでしょうか。未来の創造は人間の特権であり、可能性の創出は、若者の特権です。広く社会に目を向け、可能性を信じ

日々精進します。グローバル化が進む今、本学では昭和ボストンをはじめ国際感覚とリーダーシップを磨く教育機会が用意されています。これらを活かし、社会貢献できる女性をめざします。大学生活に全力で取り組むことを約束し、誓いの詞といたします。

今日、昭和女子大学に入学できたことを嬉しく思います。私達は今日から「世の光となる」という学園目標の下、社会で活躍する女性を目指してまいります。初等教育学科に入学し、教育者として将来を担うと誓います。

歓迎の辞

今園 美咲 (日文)



学園の花々が春の生命のきらめきを放つこの良き日、昭和女子大学に晴れてご入学なさった皆様、おめでとうございます。大学では、目標を定め積極的に行動することで、様々な学びの機会が得られます。本学は、皆様の学びの幅を広げるための支援体制が充実しています。学科の枠を越えて履修可能な科目や、教養が身に付く文化研究講座、学寮研修では協調性や責任感を養うことができます。皆様の挑戦は、社会に出る際、自信へと繋がる

大学生活の不安や疑問が生じた際も、友人、先生方など相談できる相手は必ずあります。私達、上級生も力になります。皆様の大学生活が、充実したかけがえのないものとなりますよう、お祈りし歓迎の辞といたします。

子供達と向き合い、成長を支えるため、知識や指導力、社会性を身につけたいと思っております。夢を実現するため、学寮研修や授業、実習に取り組み、知識を智慧に変えて行動してまいります。グローバル化が進み、世界で、様々な分野で女性が活躍する時代となりました。世界に一歩踏み出した時、立ちほだかる壁を乗り越えることは簡単ではありません。しかし自分の可能性を信じ、一歩前に入る勇氣を持って壁を乗り越えていきたいと思います。新入生一同、周囲を明るく暖かく照らす奉仕の心を忘れず、努力することを誓います。

落合さつき (初教)

今日、昭和女子大学に入学できたことを嬉しく思います。私達は今日から「世の光となる」という学園目標の下、社会で活躍する女性を目指してまいります。初等教育学科に入学し、教育者として将来を担うと誓います。

度、神奈川県と千葉県にある研修施設で仲間と共同生活が行われます。私が所属する心理学科には「心理支援コミュニケーション・サービスマーケティング」という授業があり、地域社会の心理支援を必要とする現場でボランティア活動をします。教室での学びを実践することにより高い知識と技術の習得に努めています。この様に本学では、学びの環境が十分に整い、そのチャンスを活かすのは自分自身です。ぜひ、積極的に挑戦してください。学生生活が豊かで充実したものとなるようお祈り申し上げます。歓迎の言葉

総務委員会からの報告

平成二五年度秋桜祭バザーについて報告する。各学科からの数多くの献品により、秋桜祭バザーを成功させることが出来たことを、まずは心から御礼申し上げます。収益金は例年のように学生に還元する物品の購入に使わせていただいた。改めてご協力いただいた皆様に感謝申し上げますと共に、今後も総務委員会の活動にご協力をお願いいたします。



学生ホールに設置した時計とともに (右二五年度委員長 蜂須賀愛里)

行事予定

- 5月 1日(木) 火曜代替日、創立記念式(10:45)
- 5月 2日(金) 創立記念日
- 5月 6日(火) 振替休日
- 5月 7日(水) 月曜代替日、学内推薦(院修士)学生エントリー開始(～5/9)  
図書館情報検索ガイダンス(～6/27)  
生活機構学専攻後期入学者論文中間発表会(16:30)
- 5月 8日(木) 第33回メンターフェア(11:45)
- 5月10日(土) 大学院オープンキャンパス(13:00)、第1回全学対象TOEIC IPテスト(13:10)
- 5月13日(火) 学内合同企業説明会(H27年3月卒業予定者対象)(12:30)  
【文研】歌舞伎鑑賞会(18:15)
- 5月14日(水) 第1回就職ガイダンス(15:30)
- 5月18日(日) ホームカミングデー
- 5月21日(水) 【女教】西田恒夫氏「グローバル時代を生きる」(15:30)
- 5月22日(木) 【文研】平松混声合唱団(18:15)
- 5月24日(土) 学内推薦入学考査(大学院修士)
- 5月26日(月) 第34回メンターフェア(11:45)
- 5月27日(火) 【文研】オペラ チャイコフスキー作曲「女王イオランタ」(18:15)
- 5月30日(金) 学内合同企業説明会(H27年3月卒業予定者対象)(12:30)
- 5月31日(土) 第28回メンターカフェ「人に寄り添う仕事(福祉・保育・教育)で働く！」(13:30)

### 西門の利用について

◆ ◆ ◆  
 四月一日(金)から西門の利用時間が拡大されることになった。  
 ◆ ◆ ◆  
 西門利用については、学生会が80年館の学生ホールに設置しているオピログにも多くの学生から利用の要望が寄せられており、学生会から大学へ要望し、検討の結果、実現の運びとなった。  
 ◆ ◆ ◆  
 今後西門の利用に際し、注意してもらいたい点が三つある。  
 ◆ ◆ ◆  
 一つめは、通行可能時間だ。通行可能時間は月々土曜日の七時三〇分から二二時。大学の一斉休業期間は利用できない。  
 ◆ ◆ ◆  
 二つめは、通行時には必ず学生証を提示することだ。学生証を忘れた場合は、西門は利用できないので、正門へ。  
 ◆ ◆ ◆  
 三つめは、通学経路だ。下の図にある道順で西門を利用してほしい。西門を利用する際は近隣の方々の迷惑にならないよう十分に配慮して通行することも重要である。  
 ◆ ◆ ◆  
 西門の利用は学生の意見が実現した大きな成果である。しっかりマナーを守り、皆が快適な大学生活を送れるようになっていきたい。  
 ◆ ◆ ◆  
 (学生会執行部 望月里華)



お互いに気持ちよく通学できるよう 周囲への配慮を忘れずに !!

### 学生会館入館の集い 4 / 1

学生会館の入館の集いとオリエンテーションが行われ、入館学生と保護者が出席した。  
 集いでは、坂東眞理子学長から「留学生も在館する学生会館で国際交流し、様々なことを感じ、考えてグローバルに通用する学生になることを目指して、緑舎から四〇名・新入生七九名・留学生二名の計一二二名が生活を始める。新入生の部屋ではアドバイザーの上級生とともに、共同生活の約束事を決めた。上級生である私たちは、緑舎での経験を伝えつつ、学生会館での日々を新たに



学生会館入館の様子

につくっていくきたい。  
 (歴史 小倉咲葉)

### 英語でボランティア!

ギャップイヤーを利用して英語教師のボランティアをしながら日本に滞在する一八〇歳のイギリス人六名の中間研修期間の通訳として、二月二十五日〜二十八日にボランティア活動をした。



このボランティアでは、シンポジウムの通訳をはじめ、生活全般の支援や日本学生との交流を行った。短期間ではあったが、生活を共にすることで友情を育むことができたことは大きな収穫だったと思う。互いに楽しいひと時を過ごす中で、英語の自然な言い回しやイギリスについて多くのことを知ることができ、さらに同年代の彼女たちが使う生きた英語に触れたことも良い経験となった。こうしたボランティアは、日本にいながら英語を使う環境を手に入れる絶好の機会である。多くの学生に参加を呼びかけたい。  
 (ENVO 青木さやか)

### 先生の研究室訪問 理屈と空気感

心理学科教授 今城周造 先生



今回は心理学科の今城周造先生の研究室に伺った。今城先生は心理学の中でも社会心理学、社会的態度を専門に研究されている。社会的態度とは世の中のさまざまな事柄について、社会生活を営む個人がどのように考えるかという個人がどのように感じるかという。今城先生の学生時代は環境汚染が大きな社会問題となっていた。藻の繁殖によって海が赤くなる赤潮が多発し、その原因として合成洗剤のリンの問題が挙げられていた。先生は、友人に環境に悪い合成洗剤ではなく、石鹸を使うよう説得され、一緒にピラを配るなどの市民運動をしたそうだ。

しかし、多くの人は先生の説得に聞く耳をもたなかったという。「いろいろな一生懸命に言っても、ほとんど聞いてくれないのは、なぜか」という疑問が先生の胸に大きく残っていた。ある呼びかけに對して人が態度を変えることの背後には、説得や態度変化に関わることを社会心理学で学び、研究するようになったのだとか。

欧米では、論理的な説得が態度変化に効果的であるのに対し、日本などの文化圏では、集団主義で「周りの人々がどう思っているか」が重要になるといえる。理詰めの説得だけでなく世の中の流れ、空気感が人の気持ちを変えて行く、その辺りをどうに研究すべきか、現在も模索中である。学生時代は小説を書くことに熱中し、夏休みは殆んど同人誌の制作に費やしていたという。長編小説を書ききれなかったおかげで、卒業論文執筆の際には、書くべき文字量にもひるむことはなかった。

「それが何に役立ったかは分からないけれど、学生時代にしかできないことをやってみてほしいな。」

いつものニコニコとした朗らかな顔で、そう話して下さった。  
 (心理 町田瑞貴)

### 家庭料理技能検定二級 優良賞受賞

私は、大学一年次から&B活動の献立作成の経験が活かされたように思う。夏休みは、毎日実技の練習をした。特に大根のかつら刺き、最初はうまくできなかったが、繰り返し練習し、コツがつかめて薄く長く刺した時の喜びは忘れられない。この受賞は、調理に自信が付き、料理の楽しさを知ることができた。最初は難しいと思えることも、練習で克服できると実感できたことは、大きな収穫だ。四月からは、栄養士として仕事を始めた。今後は、一級に挑戦していきたい。  
 (健康H二五卒業生 甲田野花)



賞状を手にした甲田野花さん

### 短期大学部に感謝する会 開催

短期大学部最後の卒業式が挙行された三月一六日(日)一七時から「短期大学部に感謝する会」が、ご退職の先生方から現役の教職員まで多数ご出席され、本部大会議室で開かれた。平尾光司理事長のご挨拶、坂東眞理子学長のご挨拶と乾杯のご発声そして川平朝清先生、プロヴォー先生、島田淳子先生、田部稔先生のお話があり、それぞれ先生方への感謝と短大が培った本学教育の基盤、さらにそれが今後本学の教育に浸透していくことなど短大の功績を語られた。先生方は久しぶりの再会を喜び、楽しく過ごされた。短大が恙なく終焉を迎えることができたのは関係の皆様のお力によるものと心から感謝を申し上げます。  
 (短期大学部長 大田鈴子)





# 新入生歓迎 オリエンテーション

## 4月2日~10日

新入生が一日も早く大学に慣れ、充実した学生生活を送れるようにと、四月二日(水)の入学式から約一週間、上級生懇談会・学科主催夕食会など様々な工夫を凝らした企画・催しが行われた。感想とともに、大学生活への抱負を新入生に聞いた。



### 新たなスタートをきって

四月七日(月)は、基礎ゼミの仲間との初対面、先輩方との交流、新入生歓迎夕食会などとても充実した一日であった。この日は新しい出会いの連続で、特に夕食会では多くの同級生と話すことができた。みんな本当歓迎夕食会などとても充実した一日であった。



この日は新しい出会いの連続で、特に夕食会では多くの同級生と話すことができた。みんな本当歓迎夕食会などとても充実した一日であった。

### 明るい大学ライフが見えた

入学してまだ生活に慣れていない私は、教わることや新しい出会いがたくさんあり、心に焦りがあつた。オリエンテーション



入学してまだ生活に慣れていない私は、教わることや新しい出会いがたくさんあり、心に焦りがあつた。オリエンテーション

### 新たな一歩を踏み出して

四月四日(金)に福祉社会学科の先輩方による新歓オリエンテーションがあつた。教室には、たくさんの飾り付けがなされ、新入生を歓迎して下さる気持ちが伝わってきた。



四月四日(金)に福祉社会学科の先輩方による新歓オリエンテーションがあつた。教室には、たくさんの飾り付けがなされ、新入生を歓迎して下さる気持ちが伝わってきた。

### 新入生歓迎フェスタを終えて

#### 新入生の皆さんへ

四月九日(水)、委員会や公式クラブ・サークルを紹介する「新入生歓迎フェスタ」を創立者記念講堂で開催し、二三団体

四月九日(水)、委員会や公式クラブ・サークルを紹介する「新入生歓迎フェスタ」を創立者記念講堂で開催し、二三団体



履修相談であつた。取得希望資格が同じ先輩に受けるべき授業などについてアドバイスを頂き、履修計画作成に役立てることができた。

お昼は、障害者雇用に入力を入れてくれる会社や、地域の福祉施設の方が作ったサンドウィッチや焼き菓子などを頂き、先輩方と楽しく昼食をとった。

先輩方には、大学に入ってから間もない私たちに温かく歓迎して頂き、履修相談にも親身に乘って頂いた。これからの大学生活では広い視野を持ち、様々な経験をし、自立した女性になれるように努力していきたい。

(福祉 上野真悠子)

(環境 村岡歩果)

(英コミ 安齊真優)